

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市社会福祉協議会補助金	開始 年 度	昭和43年度
----------------	---------------	-----------	--------

団 体 名	社会福祉法人 函館市社会福祉協議会
-------	-------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	社会福祉法人の助成に関する条例，社会福祉法人の助成に関する条例施行規則， 函館市社会福祉協議会補助金交付要綱
-------------------------	---

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市民に密着した地域福祉を推進するとともに，市の福祉行政を補完する役割を担う函館市社会福祉協議会に対し，その法人運営および地域福祉活動事業に要する経費を補助する。
目 的	(目 的) 身近な地域で取り組む福祉活動の充実・活性化など，市民に密着した地域福祉を推進する施策を主体的に取り組むため。
・ 効 果	(効 果) 財政基盤の乏しい同法人の経営を安定させることによって，種々の福祉サービスの提供が可能となり，市民福祉の向上に寄与している。

○補助事業の収支状況（全経理区分合計）

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	寄附金	経理(会計) 区分間繰入	施設整備・ その他活動	前期末 支払資金 残高	計
		市	その他							
収	23	137,326	43,454	521,579	9,520	6,189	50,618	25,313	61,649	855,648
	24	130,360	55,220	492,651	9,672	6,035	29,837	68,779	48,102	840,656
	25	119,852	52,480	447,476	9,675	5,733	22,204	61,455	30,948	749,823
入	26	123,335	51,912	437,828	9,569	5,066	22,334	12,500	40,117	702,661
	27	73,326	59,299	495,835	9,399	6,257	31,799	22,172	32,714	730,801
支	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費	経理(会計) 区分間繰入	施設整備・ その他活動		計
	23	430,036	177,797	64,105	3,318	53,286	50,518	28,487		807,547
出	24	411,761	176,780	54,909	3,272	59,006	29,737	74,243		809,708
	25	352,635	175,782	53,677	3,152	56,132	22,104	46,224		709,706
	26	344,378	175,970	54,591	3,094	55,922	22,022	13,970		669,947
	27	353,556	166,048	60,794	2,897	50,050	31,799	15,960		681,104

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市社会福祉協議会補助金
----------------	---------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館市社会福祉協議会は、社会福祉法に基づく組織として、社会福祉を目的とする事業の企画および実施や、社会福祉活動への住民参加のための援助、社会福祉事業の調査、普及宣伝、連絡、調整および助成を行うほか、社会福祉事業の健全な発達を図るために必要な事業を実施する公益法人である。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館市社会福祉協議会は、「共に支え合い安心して暮らせるまちづくり」を基本理念に掲げ、市や関係団体と円滑な連携、協働のもと各種の福祉事業を総合的に展開することを目的とし、福祉行政を補完する役割を担うことから、一定程度の補助は必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	寄附金や会費の増を図るとともに、介護保険事業による安定的な収入確保に取り組んでいる。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ボランティア養成や住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりを推進する地域福祉活動の充実・活性化を主体的に取り組んでいることから、補助金によることが有効である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	本市の地域福祉の推進を図るうえで、地域福祉の中心的な役割を担う社会福祉協議会の運営の円滑な遂行を確保するため補助金を支出しているが、平成27年度から補助金・委託料の総合的な見直しを行ったことにより、法人運営および各支所の地域福祉活動事業に係る経費に対する補助率は補助対象経費の1/2としている。なお、必要と認める事業(地域福祉活動事業(本所)および応急生活資金貸付事業)に対しては1/2を超えている状況にある。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	地域経済の低迷や町会加入者の減少などにより、会費収入や寄附金収入は減少傾向にあるが、今後は経営改善計画作成や会費増額に取り組むとともに、介護保健事業の収支状況の把握に努め、赤字事業の見直しなど自主財源の確保を図るよう求めている。
7	経常経費の節減に努めているか	<input checked="" type="checkbox"/>	本部事務局体制や東部管内を含めた支所のあり方の検討など組織機構の見直しを実行することによる業務効率化、人件費抑制を強く求めている。

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市社会福祉協議会補助金
----------------	---------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

社会福祉協議会の事業実施の目的は、地域福祉の推進という漠然としたものであり、具体的な数値等で示すことが難しいため、実施事業の中で数値として表すことのできる、会員数とボランティア団体登録数を指標とする。

(達成状況)

	H23	H24	H25	H26	H27
会員数 (一般)	151	150	152	150	155
会員数 (賛助・団体・特別)	346	360	352	356	367
ボランティア登録数 (個人)	270	266	244	249	265
ボランティア登録数 (団体)	170	168	167	169	176

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)

- 十分効果をあげている
- 一定の効果をあげている
- 効果が疑問である
- その他

(理由)

少子高齢化や核家族化の進行、地域における人間関係の希薄化などにより様々な生活問題が生じてきている中、共に支え合い安心して暮らせるよう地域社会で福祉課題の解決に取り組む、地域福祉の推進をしており、一定の効果をあげている。

○今後の方向性

<input type="checkbox"/>	現行のまま補助を継続
<input checked="" type="checkbox"/>	見直したうえで補助を継続
<input type="checkbox"/>	廃止
<input type="checkbox"/>	その他

(見直しの内容)

平成27年度から社会福祉協議会に対する補助金・委託料の総合的な見直しを行ったところであるが、今後においても平成29年度末まで1人工に相当する額の削減のほか、支所のあり方の検討、介護保険事業の改善による自主財源の確保を図るよう強く求めている。

(見直しの時期)

(廃止の理由)

(その他の内容)

(廃止の時期)

○終期の設定

終期設定
平成 29 年度



<input type="checkbox"/>	終期到来により廃止
<input checked="" type="checkbox"/>	終期到来時に再検討



次回チェック年度(予定)
平成 29 年度